

# 地震 危険度マップ

危険度マップとは、遠軽町に大きな影響を及ぼすと考える地震とその揺れの大きさを想定し、その地震によって地域の建物の被害がどの程度生じるかを示すマップです。「建物の構造や建設年次」をもとに、全半壊率を表示しています。

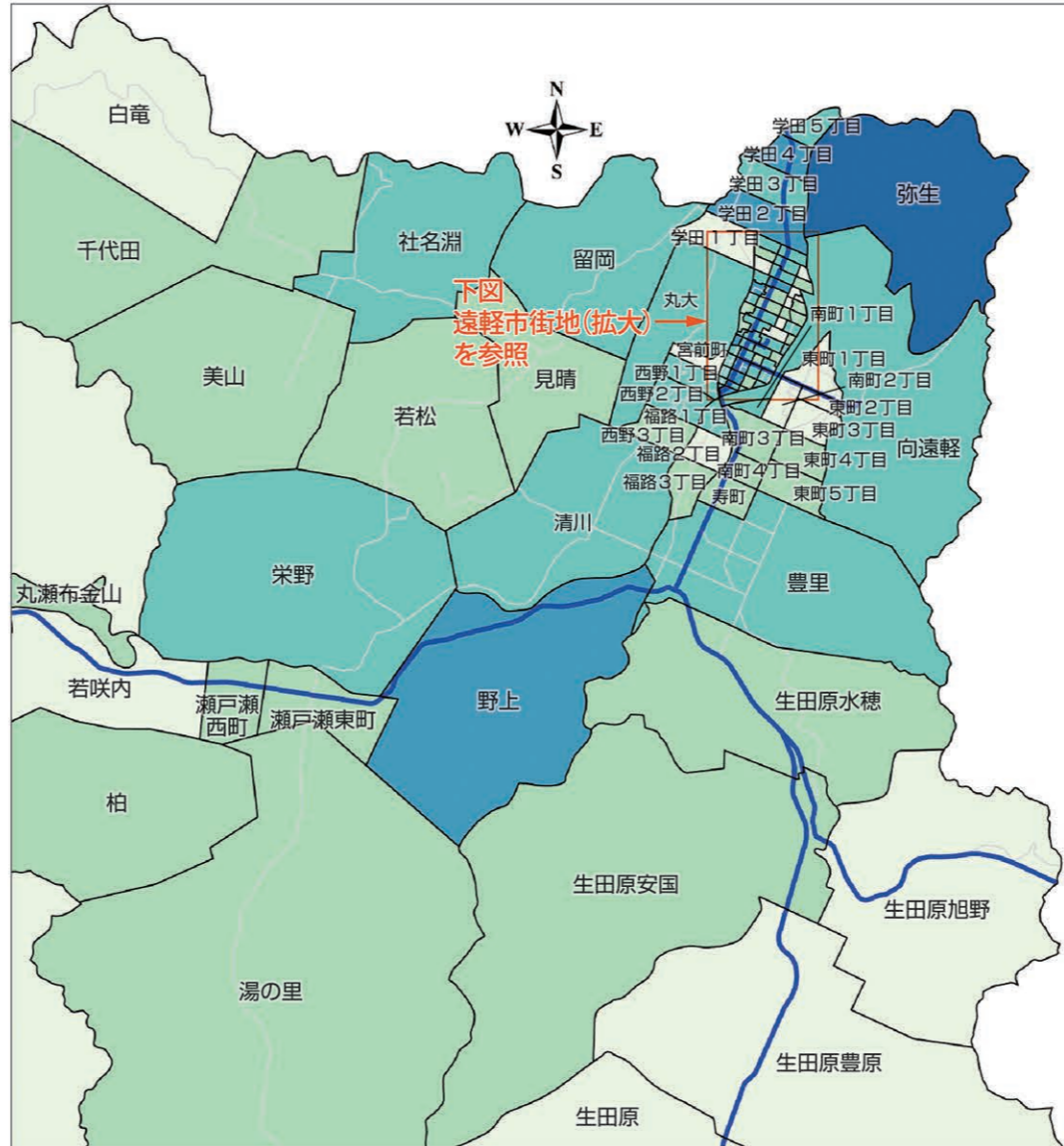
## 白滝地域



## 丸瀬布地域



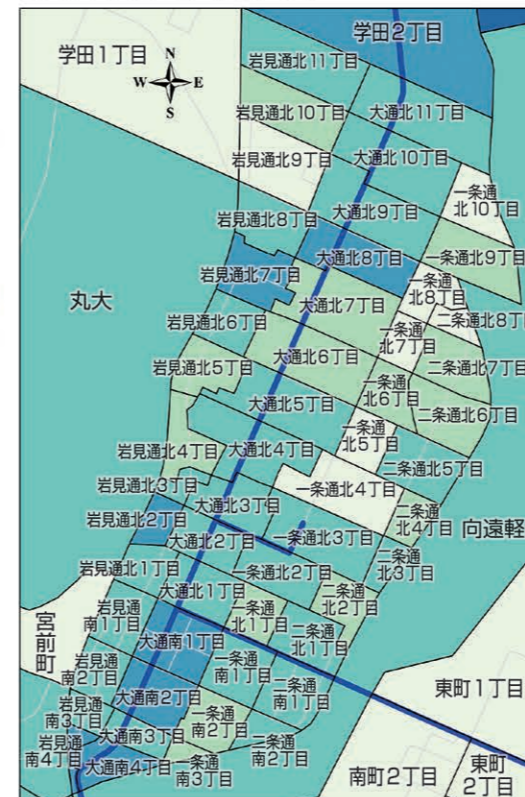
## 遠軽地域



## 生田原地域



## 【遠軽市街地（拡大）】



## 建物の被害想定—地域の「危険度マップ」

遠軽町に最も影響を及ぼすと想定される地震は「全国どこでも起こりうる直下の地震（遠軽町直下でのM6.9クラスの地震）」です。町内全域において6弱の揺れが予想されています。この揺れが起こった場合、建物がどの程度倒壊する可能性があるかを確認し、防災対策を立てる際の参考としてみてください。

### 遠軽町で想定される地震

#### ●全国どこでも起こりうる直下の地震

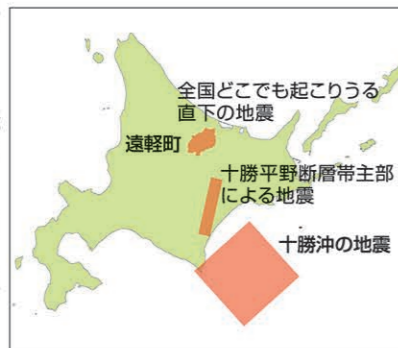
遠軽町直下での地震。M6.9クラスで、震度6弱を想定。

#### ●十勝沖の地震

プレートの境界や内部で発生する地震。M8.1クラスで、震度4を想定。

#### ●十勝平野断層帯主部による地震

活断層を震源とする地震。M8.0クラスで、震度5弱を想定。



全半壊棟率（直下型・冬）	棟数
10%以上	(1)
7 - 10%	(10)
5 - 7%	(38)
3 - 5%	(37)
3%未満	(41)

緊急輸送道路  
第1次緊急輸送道路

※建物全半壊率は、「平成27年度地震被害想定調査結果（平成29年2月北海道）」を参考に算定しています。

# 火災

日頃から火災を発生させないようにするとともに、万が一火災が発生したときに備え、対応を身につけましょう。

## 被害を減らす心得

### ▼チェックしましょう！

- 家のまわりにごみを置かない。
- 寝たばこ、ポイ捨てをしない。
- たき火や野焼きをしない。
- 火を使っている時はそばを離れない。
- ストープの周りにもものをおかない。
- コンセント周りをきれいにする。
- 住宅用火災警報器や消火器を設置する。

## ！知る ~いざというとき、正しく判断するために

通報・初期消火・避難が原則です。ただし、逃げ遅れないことが何よりも大切です。

## 火災が発生したら

### ■早く知らせる

火災の発生を周囲に知らせ、小さな火でも必ず119番に通報する。



### ■初期消火

火が横へ広がっているうちは初期消火を。身近なものを利用して消火しましょう。



### ■避難する

火が天井まで広がったら避難。タオルなどで口や鼻を覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くする。



## 消火器の使い方

- 安全栓を引き抜く
- ホースをはずし火元に向ける
- レバーを強く握って火元に噴射する

